福井県立大学 第4期中期計画（令和7年度～12年度）概要

福井の次の100年を支える大学へ 第2の開学

福井県立大学は、開学以来の教育研究成果を基盤に、県内各地に設置する6キャンパスや特色ある6学部の特性を最大限に活かし、全ての教員と職員が一体となって実社会で活躍する人材の育成や新たな価値の創造に努め、その成果を地域社会と県民に還元することを重視し、福井の活力を支えるための取組みを強化していく。

教育

○社会のニーズや地域の特色を踏まえた学部・研究科の新設・再編等を行うとともに、4センター体制（情報※、国際、地域連携、共通教育）により重点分野の取組みを強化し、福井県の持続可能性を支える人材を養成する。

※情報センターは2023年4月開設済

- ・ 恐竜学部、恐竜学研究科（仮称）、地域政策学部（仮称）の開設
- ・ 経済・経営学研究科の再編

○6キャンパス6学部の特性を最大限に活かした教育を実施するとともに、全学的な教育の質の向上、大学連携等による教育環境の改善を進める。

- ・ 教育DXによる学修データの可視化や県内6キャンパスをつなぐ学部連携型授業の実施
- ・ 学生による授業に対する総合評価：4段階評価3.5以上（計画期間平均）
- ・ 共通教育センター（仮称）の設置

○総合大学としての特長を活かし、社会的ニーズをとらえた教育に取り組むとともに、学生の可能性を広げる多様で特色ある教育を行う。

- ・ 首都圏など異なる地域の大学で一定期間学ぶ国内留学制度の創設
- ・ 文部科学省認定プログラムに基づく全学的な情報教育の強化
- ・ 県内出身者の入学割合：50%以上（計画期間年平均）

○学生の県内定着につながる企業や地域との連携を重視した教育を強化する。

- ・ 企業や自治体等と連携した就労体験型学習（コーオプ教育）の実施
- ・ 地元経営者等を講義や実習指導に活用する特任講師制度を全学で導入
- ・ 全学的な産学官連携体制を強化する地域連携センター（仮称）にキャリアセンターを統合し、企業とのつながりを活かし、県内への就職割合：50%以上（計画期間年平均）

○グローバル人材育成に向けた戦略を強化し、学生の海外派遣や外国人留学生の受入れなど、国際交流促進のための総合的な支援体制を強化するとともに、学生の英語力向上、多文化理解のための環境整備を進める。

○質の高い海外留学プログラムや海外研修、海外大学との交流等により、グローバル人材育成に向けた多様な教育機会を提供するとともに、外国の高度人材を受け入れ、県内定着を図るための日本語教育体制を充実する。

- ・ 海外経験豊富な教員や国際交流に精通した専門職員を配置した国際交流を総合的に支援する国際センター（仮称）の設置
- ・ キャンパス内に英語等でのコミュニケーション力を磨くグローバル空間を整備
- ・ 海外留学・海外研修等への参加学生数：100人以上（2028～2030年度年平均）
- ・ 外国人留学生・研修生等の受入れ数：50人以上（2028～2030年度年平均）
- ・ 外国人留学生の満足度：80%以上（計画期間平均）

○多様な学生の確保に向けて、社会人等の受入れ促進や女子枠創設などの入試制度改革に取り組むとともに、学生が自らの可能性を最大限発揮できる環境整備、支援の充実に取り組む。

- ・ 社会人入学者数：30人以上（計画期間最終年度）
- ・ 学部生の学生生活の満足度：80%以上（計画期間平均）

研究

○農林水産物の県産化など地域の持続可能性を高める全学的な研究プロジェクトや知的財産を活用した共同研究・受託研究等を推進する。

- ・教員1人当たりの著書・論文数：1.8件以上（計画期間年平均）
- ・共同研究・受託研究件数：60件以上（計画期間年平均）

○専門的職員の配置により全学的な産学官連携体制を強化し、外部研究資金等の獲得や大学発スタートアップの創出を支援するとともに、研究成果を広く発信する。

- ・全学的な産学官連携体制を強化する地域連携センター（仮称）の設置
- ・外部研究資金申請率（新規申請・継続交付）：100%（計画期間最終年度）
- ・外部研究資金獲得件数（新規・継続）：80件以上（計画期間年平均）

地域貢献

○6キャンパスの特色を活かした自治体、経済界等と連携したプロジェクトの展開や、地域住民の健康福祉の向上のための分野横断的な研究、地域経済研究所が主体となる自治体等と連携した学生参加型の地域課題解決プロジェクトを推進する。

- 永平寺キャンパス：経済・生物資源・看護福祉が連携した学部横断型の地域貢献
- 小浜キャンパス：海洋環境保全と水産物利用を通じた地域貢献
- あわらキャンパス：食・農・環境をテーマにした農業や地域の振興
- かつみキャンパス：増養殖技術を基盤とした新産業創出
- 勝山キャンパス：古生物・地質分野の人材育成と恐竜関連産業の創出
- 福井まちなかキャンパス：福井駅周辺をはじめ県内各地の学生参加型の地域づくり支援

- ・各キャンパス等において地域価値向上プロジェクトを毎年度実施
- ・キャンパス周辺の空き施設を活用した教員や学生の地域の活動拠点を設置

○福井まちなかキャンパス等を拠点に、企業ニーズに対応したリスキリングを強化し、県民との協働や多様な人材の交流・ネットワークづくりを推進するとともに、県民に対し県立大学の教育研究活動を広く発信する。

- ・リスキリング・リカレント教育を総合的に推進する拠点を設置
- ・リスキリング等講座参加者の満足度：80%以上（2027～2030年度平均）

業務運営

○経費削減をはじめ、外部からの資金獲得強化、公舎の見直しなど施設の有効活用、学生納付金等の必要に応じた見直し検討など、自己財源の確保に努める。

- ・外部資金獲得金額：240百万円以上（計画期間年平均）

○安全で利便性の高いシステム・ネットワーク構築によるDX推進、全学的なダイバーシティ推進、災害から学生を守る危機管理を徹底する。

- ・教職員管理職に占める女性の割合：25%以上（計画期間年平均）